

ライティング・マラソン 2012 の反響



2012年のレター・ライティング・マラソンは、その参加者が150万人を超え、大成功のうちに幕を閉じました。事務局には、このマラソンへの反響が続々と届いています。

ドミニカ共和国で失踪したホアン・アルモンテ・ハレラさんの妻、アナ・モンティラさんは「皆さんからののがきやカードはこの3年間で最高のクリスマスプレゼントでした。夫の存在を世の中に伝え、私の痛みを分かち合ってくださいましたことに心から感謝します」と話していました。

ベラルーシの人権活動家であり、良心の囚人でもあるアレクサンドル・ルビコフさんは「郵便が山のように届きました。手紙を送ってくださった方々に感謝します。新年の休み中、まる2日間、数百通もの手紙とはがきをひとつひとつ読ませていただきました」とコメントしています。

グアテマラで強かんされ、殺されたマリア・イザベル・フランコさんの母、ローザ・フランコさんも「優しさにあふれる手紙を送ってくれたすべての人たちに感謝します。こんなに多くの人たちが娘の事件を伝え、たくさんの手紙を集め、届けてくれました。届いた12月24日はちょうどこちらでは、クリスマスを祝う日でした。皆さんの活動には本当に感動しました」と感謝していました。

事務局では、今回のライティング・マラソンが社会にどれだけのインパクトを与えたのかを調査しています。詳しいことが分かり次第、改めてご報告します。

2012年 UA(緊急行動)～振り返り～

2012年の1年間にどれだけのUAを発信したのでしょうか。新規では348件、継続では323件、合計671件でした。

【地域】中東・北アフリカ地域が228件（新96、続132）と多く、次いでアメリカ地域が184件（新118、続65）、3番目はアジアの98件（新53、続45）、その後にはアフリカ84件（新40、続45）、ヨーロッパ77件（新41、続36）と続きます。

【性別・個人の数】671件のうち410件が男性、82件が女性です。168件は男女両方が含まれ、11件は性別が掲載されていません。新規の299件で個人が特定できているのは8974人です。続報292件では4210人です。80件の緊急行動は数百人、時には数千人の個人や家族、先住コミュニティなどを対象として発信されています。

【内容】表現の自由（142件）、良心の囚人（123件）、死刑関連（94件）、身の安全への懸念（84件）、拷問（77件）という順です。

ニュージーランド支部の効果的な動きが、イランを揺さぶる！

ニュージーランド支部のUA担当がここ数年、在ニュージーランドのイラン大使に揺さぶりをかけている様子を伝えてくれました。

ニュージーランドのイラン大使は、UAチームが送った大量のアピールに悲鳴をあげたのです。多いときには日に80本のメールが届いたのです。大使をしてメンバーに電話をして「アムネスティは間違っている」と言わせる事態にまで発展。昨年9月には、大使の要望でニュージーランド支部代表らが大使と直接対話する機会もありました。イラン国内の人権問題に関する私たちの懸念を直接、伝えることができました。これは私たちのUA活動が、政府や機関に大きなインパクトを与えることができるという、格好の例でしょう。

殺人事件に関与した警察官が起訴されました



11月のUAニュースでも取り上げた、ドミニカ共和国のビリアム・デ・ヘスス・チェコさん(写真左)とセシリオ・ディアスさん(同右)の殺人事件の捜査に進展がありました。

2009年に起こったこの事件で、殺害に関与した警察官がやっと起訴されました。警察は当初、2人はギャングと警察との銃撃戦に巻き込まれて殺されたと主張していました。調査委員会の調査が「被害者が意図的に殺されたことは明らか」と結論づけています。にも関わらず、今までただ一人の警察官も罪に問われることがありませんでした。

ドミニカ共和国では、警察による人権侵害は日常茶飯事です。アムネスティでは何十件もの殺人や拷問、恣意的な逮捕や強制失踪を世界に訴え告発してきました。アムネスティがまとめた報告によれば、2007年から2011年の間に起こった殺人事件の15%が警察によるものであり、そのほとんどの事件で警察は罪を問われないままになっています。

今回の進展は、2012年11月のツイッターアクションに端を発しているともいえます。メキシコ、ベネズエラ、プエルトリコなど中南米の主要な国の人びとが取り組んだアクションの数日後には、アムネスティの代表団とドミニカ共和国の検察官との間で会談が持たれています。この事件を担当した弁護士は、「アムネスティの関与がこの事件を前進させている」と評価する一方、警察の組織内部の調査や責任追及の必要性も指摘しています。

私たちは今後もドミニカ共和国政府への圧力を強め、数々の不法な事件に対する正義を求めて活動していきます。

毎年2月13日は国際ラジオデーです

国連のユネスコは毎年2月13日を「世界ラジオデー」として定めています。国連のラジオ放送サービスが1946年のこの日にスタートしたことに由来するそうです。同時にこの日は、各国の関係者に公共メディアとしてのラジオや、ラジオ放送で伝えられる情報の重要性を再確認してもらう日でもあります。

ユネスコは、ラジオ放送が暴力的な攻撃や人権侵害の対象になりやすいメディアであることや、一つの攻撃でその余波は広範囲に広がることを指摘しています。というのも、貧困や低識字率の地域では、ラジオが主要メディアであり、遠隔地に住む人びとが頼るのもラジオだからです。

アムネスティは、ラジオのジャーナリストやラジオのリスナーなどの人権侵害も取り上げ、活動してきました。この世界ラジオデーをきっかけに、皆さんも再度ラジオの重要性を考えてみてはいかがでしょうか。

緊急行動 グッドニュース！

【バーレーン】16歳の少年、ムハンマド・アブドゥルナビ・アブドゥルワシさんが、2012年12月20日に釈放されました。起訴されない模様です。家族によると、ムハンマドさんは12月11日、シトラにある自宅に踏み込んできた機動隊によって逮捕されました。彼の逮捕の理由はわかりません。

アピールを送ってくださった皆さんのご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本